

オーバーハウザー博士ご逝去のお知らせ

2011年12月10日に物質の核スピンの分極に関するオーバーハウザー効果の発見で著名なオーバーハウザー博士 (Albert Overhauser) が 86 歳でご逝去されました。日本核磁気共鳴学会では、NOESY や DNP の基礎原理となっているオーバーハウザー効果の発見者としての博士のNMRにたいする多大な業績と貢献をたたえて、深く追悼の意を表します。

オーバーハウザー博士 (Albert Overhauser) は 1925 年 8 月 17 日、California の San Diego で生まれました。博士は高校の先生になること目指して、University of California, Berkeley で物理および数学を専攻されました。一旦、学業は第二次世界大戦時海軍に従事した後、1948年に学士、1951年に物理学で博士号を授与されました。その後直ちに University of Illinois で研究を始められ、1953年からは、Cornel University, 1958年からは Ford Motor Company で研究を行いました。1973年より Purdue University に移り、以後 30年にわたって研究を続けられました。

博士の最大の業績は物質の核スピンの分極に関するオーバーハウザー効果の発見であることは、その後、NOESY や DNP の基礎原理として今日のNMR分光法においても使われていることから明らかです。この原理は最初に Phys. Rev. 91, 476 (1953) で発表され、直ちに Carver and Slichter によって Phys. Rev. 92, 212-213 (1953) で確認されました。その後、Overhauser によって発表された Polarization of Nuclei in Materials, Phys. Rev. 92, 411-415 (1953) は 600 回以上引用される著名な論文となっています。

日本核磁気共鳴学会では核磁気共鳴における感度増強の基礎原理を発見されたオーバーハウザー博士の業績を知ってもらうため、ここに追悼の意を発信させていただきます。

日本核磁気共鳴学会理事会